

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
再生可能エネルギーの可能性調査に係る予算の確保について	<p>令和3年度に県の再生可能エネルギーの可能性調査の補助事業を活用し、再生可能エネルギーとして太陽光、風力、小水力等いろいろあるが、その中で、小水力発電についての可能性調査の申請が採用され、曾於市大隅町の笠木原地区で、小水力発電をする計画をしている。現在建設工事中だが、来年の夏前には発電を開始したい。来年以降についても、ぜひ県としても可能性調査についての予算の確保並びに予算を増やしていただきたい。</p>	<p>県においては、本県の多様で豊かな資源を生かした再生可能エネルギーの導入促進を図っております。</p> <p>中でも、安定した発電が可能な小水力・地熱・バイオマス発電の導入を積極的に促進しており、令和4年度は、導入可能性調査など初期経費に対する支援等に取り組むこととしています。</p>	エネルギー政策課
土木工事に係る予算の確保について	<p>建設業者の数が減っているため、災害が発生し、県とか市から災害応急要請が、ひとたび数百件単位で依頼が来た時の対応に非常に苦慮する。</p> <p>従って、ある程度の業者数はこれ以上減らないような、長期的な県民市民のために、安全ないろいろなインフラ整備を長期的に考えて、ある程度の工事をしっかり確保して、業者数を維持していけるようなことを配慮してほしい。具体的には、市とか、地方の振興局にお願いをしていくが、全体的な予算の確保についてお願いしたい</p>	<p>公共事業予算の確保については、国の令和4年度予算において、本年度とほぼ同額の公共事業関係予算が確保されたところであります。</p> <p>また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の2年目分の前倒しを含む令和3年度補正予算と合わせて、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化が図られることとなっております。</p> <p>本県の令和4年度予算においても、令和3年度補正予算と合わせて、公共事業の予算確保に努めているところです。</p> <p>県としては、引き続き、あらゆる機会を通じ、国に対し、必要な公共事業予算の確保について要請してまいります。</p>	監理課

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
生産基盤拡大促進事業の予算の確保について	<p>繁殖農家の高齢化等が進む中で、肉用牛生産の安定を図るためには、繁殖基盤の維持強化が必要。昨年、令和2年度に、生産基盤拡大促進事業を作っていただいた。是非とも、継続して十分な財源を確保していただきたい。</p>	<p>肉用牛生産基盤の強化を図るために国が措置した生産基盤拡大加速化事業により、本県では令和2年度に9,083頭の増頭が図られています。また、令和3年度においても同事業の活用により増頭が図られているところです。当事業が基幹産業である肉用牛生産の安定を図るうえで重要であることから、県においては、国に対し事業の継続と必要な予算確保を要望しており、令和4年度においては78億円措置されたところです。</p>	畜産課
肉用牛経営安定対策補完事業の継続と十分な予算の確保	<p>肉用牛経営安定対策補完事業については、繁殖基盤の維持、強化にとっても不可欠な事業である。ぜひ、事業継続と十分な予算確保をお願いしたい。</p>	<p>肉用牛経営安定対策補完事業については、優秀な繁殖雌牛の導入、増頭に必要な簡易畜舎の整備及び機器導入、肉用牛ヘルパー活動の支援等肉用牛経営を支える重要な事業となっていることから、県では国に対し事業の継続と必要な予算確保を要望しており、令和4年度においても独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）事業として36.4億円措置されたところです。</p>	畜産課

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>県道志布志福山線の早急復旧と、復旧見通しの表示について</p>	<p>県道志布志福山線の災害での通行止めは、もう2年経ってもまだ完成しておらず、今も現在通行止めとなっているのが現状。志布志市方面に通勤している方、或いは通学している方、また所用で行かれる方々も、すべて、松山の方を経由して迂回しているが、早期にそれを早く、通行止めをなくすような努力をしていただきたい。</p> <p>また、今通行止めの表示がしてあるが、それも、いつ、復旧するのか、まだ目処が立っていないのか。何らかの方法で、通行止めのところに、開通の見通し等を知らせていただきたい。</p>	<p>ご要望の県道志布志福山線の災害復旧については、令和2年12月に工事発注した後、設計変更や昨年8月の長雨の影響により長時間を要しておりましたが、令和4年3月末に工事完了したところです。</p>	<p>道路維持課</p>
<p>菱田川の寄洲除去について</p>	<p>菱田川の寄洲の除去について、県も予算が大変だと思いが、除去していただきたい。これは、3年前にも、県の職員にお願いしているが、いまだにまだ除去してない。洪水のたびに氾濫しているのが現状。早急に除去をお願いしたい。</p>	<p>寄洲除去については、氾濫を未然に防止する重要な対策であることから、河川を点検し、河川断面が著しく阻害され、治水上、緊急性の高い箇所から、順次、実施しています。</p> <p>今後も、河川の維持管理に必要な予算を確保し、重点的に取り組んでまいります。</p>	<p>河川課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>牛の伝染性リンパ腫の正常化について</p>	<p>宮崎県は、牛の白血病の正常化に向けた取組を、7年ぐらい前から、地区ごとに実施し、講習を進めている。全国各地で正常化の取組が行われて、隣接の都城市場では、取組表示販売は、畜産曾於にとって、大きな衝撃。都城管内の母牛が曾於中央家畜市場の成牛市場に販売されている事実がある。経産牛の導入を曾於家畜市場から導入しないと、影響が出ている。今後、子牛の影響を考えると、畜産王国鹿児島が足元から崩れていくことが考えられるが、牛の白血病の正常化に向けての早急な取組を要望させていただきたい。</p>	<p>牛伝染性リンパ腫については、国が感染拡大を効率的かつ効果的に防止するため、平成27年4月に衛生対策ガイドラインを策定しています。</p> <p>県としては、国のガイドラインに基づき、アブなどの吸血昆虫の駆除や感染牛の隔離飼育、農場で使用する衛生器具等の一頭ごとの洗浄・消毒の徹底などを指導しております。</p> <p>さらに、令和元年度から、県や鹿児島大学、県共済連、県経済連からなる「牛伝染性リンパ腫対策プロジェクトチーム」を設置し、「衛生対策ガイドライン」の着実な実施や農家の本病に対する正しい理解醸成に取り組んでおります。</p> <p>なお、清浄化に必要な感染の程度が高い牛の摘発・淘汰、感染予防を推進するための支援策について、県開発促進協議会等を通じ、国に対して、感染拡大を防止するための検査費や、感染牛の摘発・淘汰、衛生害虫対策などの支援策に係る十分な予算確保を要請しております。</p>	<p>畜産課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>全共の盛り上げについて</p>	<p>来年全共が霧島市であるが、コロナの関係等で盛り上がりが出ていないので、知事自ら全国にアピールしていただければありがたい。</p>	<p>大会PRについては、マスコットキャラクター「かごうしママ」を活用し、大会開催に向けたカウントダウンボードを県庁や鹿児島空港ほか3か所に設置するとともに、鹿児島中央駅アミュ広場で「1年前イベント」を開催し、広く県民に大会内容の紹介や和牛の美味しさ等について周知するなど、気運醸成を図っています。併せて、地元新聞やテレビ、ラジオ等のメディアを活用したPRにも努めております。</p> <p>また、1月から3月にかけて、県庁や、開催市である霧島市及び南九州市、県内家畜市場に懸垂幕や横断幕を掲げ、一層の気運醸成を図っているところです。</p> <p>さらに、4月には、鹿児島大会での「和牛日本一」の獲得に向けた、一層の気運醸成を図るため、肉用牛農家代表をはじめ、各関係機関・団体を参集した「決起大会」を開催する予定です。</p> <p>本大会は、県内外から訪れる多くの方に鹿児島島の魅力をアピールする絶好の機会であることから、引き続き県内外で開催される各種イベント等を活用した一層の大会PRに努めてまいります。</p>	<p>全国和牛能力共進会推進室</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
南九州畜産獣医学拠点施設計画について	財部高校跡地を畜産の獣医学の拠点として活用する方向になっている。この跡地を有効使用して、畜産の曾於市、畜産の鹿児島を全国に広げるように、協力していただければありがたい。	<p>財部高校跡地については、令和4年3月末を以て譲渡手続きが完了しました。</p> <p>また、南九州畜産獣医学拠点で学ぶ獣医学生を対象とする家畜保健衛生所等でのインターンシップの受け入れや、県畜産試験場等での試験研究などによる支援を検討したいと考えております。</p> <p>本県の畜産は、曾於市をはじめ地域経済を支える基幹産業であることから、引き続き、畜産の振興に努めてまいります。</p>	畜産課 学校施設課

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>出会いサポートについて</p>	<p>結局、農業者には独身が多い。一生懸命頑張っても次に継ぐ人がいないと、やっぱりさびれていくので、地域で出会いの場を与えていただきたいと思う。</p>	<p>県では、かごしま出会いサポートセンターを設置し、結婚を希望する方の出会いのきっかけづくりを支援しているところです。 同センターが所在する鹿児島市以外の地域においても、新たな会員登録やデータの閲覧が行えるよう、臨時の出張窓口を設置しており、令和3年度は、大隅地域も含め、開催回数を大幅に拡充しております。 そのほか、令和2年度から新たな取組として、婚活・交流イベントを開催しており、大隅地域においても、これまでに2回開催したところです。 今後とも結婚を望まれる方々の希望がかなうように、結婚支援の取り組みを進めてまいります。</p>	<p>子育て支援課</p>
<p>畜産のヘルパー制度の充実について</p>	<p>畜産農家、人工授精師、農家から言われたら行く仕事でほとんど365日休みがない。できれば、ソフト面、休み、余暇を作るようなヘルパー制度を充実させていただければありがたい。</p>	<p>肉用牛農家が定期的に休日を取得し、「ゆとりある肉用牛経営」を実現するための手段として定休型ヘルパーの取組があります。曾於地区においては、曾於郡肉用牛ヘルパー利用組合が定休型ヘルパー事業に先進的に取り組んでおります。 県としても、肉用牛生産の労働負担軽減に向けて、関係機関・団体と連携し、引き続き支援に努めてまいります。</p>	<p>畜産課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>高校生を対象とした企業面談会の曾於地区での開催について</p>	<p>大隅半島でも高校生を対象にした企業の面談会の開催があったため、参加して20数名ほど会ったが、高卒で1名採用と非常に厳しい状況。できれば、曾於地区でこの面談会の開催ができないか。</p>	<p>県では、地域振興局・支庁等において、企業紹介パンフレットの作成や合同企業説明会の開催等を通じ県内企業の魅力をPRしており、昨年12月には大隅地域において、曾於地区の高校を含む大隅地域の高校2年生を対象とした合同企業説明会を開催したところです。</p> <p>開催に当たっては、参加企業70社や参加生徒約450名を収容できること、管内の高校が参加しやすい場所であること、新型コロナウイルス感染防止対策を講じやすいこと等を勘案しながら、大隅管内の市町と協議し、大隅地域全体のおよそ中間地点である串良平和アリーナを会場としたところです。</p>	<p>商工政策課</p>
<p>ハローワークとの連携強化について</p>	<p>人材紹介所を使うが、大体1人紹介してもらうのに100万ほど支払うので、何かこううまくハローワークとの連携強化ができて、もう少しこの地元で、雇用できないか。</p>	<p>県と鹿児島労働局は、平成29年度に雇用対策協定を締結し、ハローワークと連携して、介護・福祉等の分野における職業訓練や、短期インターンシップ等の取組を行い、雇用の促進に努めているところです。</p> <p>引き続き、ハローワークと連携しながら各種の取組を行い、雇用の促進に努めてまいります。</p>	<p>雇用労政課</p>
<p>指定介護事業所数の制限について</p>	<p>施設はこれから余ってくるのではないかなと、施設ができ過ぎて、結局、競争意識が増え、分散されるだけで、確保ということでは非常に厳しいので、事業所の制限ができないか。</p>	<p>介護老人福祉施設等の指定・許可に当たっては、介護保険法等により、各市町村単位で「総量規制」の取扱いがなされており、各市町村の必要入所定員総数は、当該市町村が見込んだサービス量を基に見込んでいるところであり、県の指定・許可に当たっては、関係市町村の意見を求めなければならないとされているところです。</p>	<p>介護保険室</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
菱田川の寄洲除去について	<p>菱田川の、霜月田橋あたりは、もう必ず超過を超えるっていうのがあって、うちの施設も、3年前に一時避難をせざるをえなかった状況があった。 寄洲の除去で、砂の除去、それから伐採等を強くお願いしたい。</p>	<p>寄洲除去については、氾濫を未然に防止する重要な対策であることから、河川を点検し、河川断面が著しく阻害され、治水上、緊急性の高い箇所から、順次、実施しています。 今後も、引き続き河川の維持管理に必要な予算を確保し、重点的に取り組んでまいります。</p>	河川課
国、市町村との人事交流の推進について	<p>塩田知事については、中央官庁で最も優秀な方々が入られる経済産業省のご出身なので、優秀な経済産業省の職員をはじめとする若手の中央官庁の職員に、今以上に大量に鹿児島県庁に来てもらう一方で、県庁の職員を今以上に大量に中央官庁に送り、知識・経験をOJTで習得させるような人事交流を大規模にやっていただけないかと、また県庁と市町村との人事交流も大規模にやったらどうか。</p>	<p>県においては、これまで、人事交流として、国への派遣のほか、市町村との相互派遣を行ってきているところです。 派遣を通じて、派遣先との相互理解を深めること、双方の組織の活性化と人材の育成を図ることなどに資するものと考えております。 御意見も踏まえ、引き続き、職員の資質向上や、組織の活性化が図られるよう国・市町村等との人事交流の推進に取り組んでまいります。</p>	人事課

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>IT民間企業等からの職員採用について</p>	<p>国にしろ、地方にしろ、役所は国民・県民・市民に行政サービスを提供する組織である。国が地方活性化のキーとなるのがデジタル化だと言っているが、IT民間企業等からの職員採用等を大幅に行うことで実現できるのではないかと考えている。</p>	<p>県においては、国の動きも注視しつつ、今年度、デジタルによる社会変革に向けた課題と基本的な方向を明確にするため、推進戦略を取りまとめたところです。 同戦略では、デジタル人材の活用等を重要な柱と位置づけており、令和4年度は、同戦略に基づき、各分野の専門的知見を有する外部有識者や実務に精通した情報システム関連企業からの人材派遣を活用し、県内全体のデジタル化を推進することとしています。</p>	<p>デジタル推進課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>農業大学校、農業高校の教員に係るIoTやAIに強い民間企業からの採用について</p>	<p>農業大学校や農業高校の先生方と話しても、スマート農業の新たな技術に係る知識・経験を持った先生方がほとんどおらず、学生に教えることができないと言っている。IoTやAIに強い民間企業の方々を先生として採用し、将来の農業後継者たる農業大学校生や農業高校生に、スマート農業にかかる適切な教育の機会を与えていただけないか。</p>	<p>【農業大学校について】 農業大学校では、令和2年度から、新たにスマート農業概論の科目を設置し、外部講師による講義を実施しているほか、茶のロボット摘採機などスマート農業関連機器等を整備し、教育体制の充実を図っているところです。引き続き、スマート農業を实践できる人材の育成に向けて、教育の充実を図ってまいります。</p> <p>【農業高校について】 県内の農業高校では、スマート農業に対応するため、農業用ドローンや無人遠隔操作トラクタなどの最新のスマート農業機械を導入するとともに、ドローン等の実技講習による教員の技術の向上を図り、先進的な農業とその経営について学ぶ環境を整えているところです。</p> <p>また、農業高校生や職員を対象に国内外の先進的農家等での視察や先進的な取組を行う外部講師を招聘した研修も実施しています。</p> <p>このような取組を通して教員の指導力の向上や農業技術の高度化に対応できる担い手の育成に努めてまいります。</p>	<p>経営技術課 高校教育課</p>
<p>大隅地域への交通安全教育センターの設置について</p>	<p>大隅地域を対象とした交通安全教育センターを開設していただきたい。</p>	<p>いただいた御意見については、県警本部におつなぎしました。</p>	<p>県警察本部</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
新型コロナウイルス感染症対策について	<p>パンデミック，要するに伝染病の問題と，災害の問題，この二つの対策が，（こども園を）運営していく上で，大切なことではないかなと思っている。</p> <p>災害も年々，様々な，大規模な災害が発生している。また，県の方や市の方からも，災害があるたびに，メールで通知があるので，それを活用させていただいているところ。備えあれば憂いなし。予防にまさる治療なしということわざもあるように，起きてからでは遅いので，できるだけ，事前に対応していきたいと，心がけている。</p>	<p>医療提供体制の整備については，受入病床や宿泊療養施設の確保に努めているところです。</p> <p>また，感染拡大傾向時における県の要請に基づくPCR等検査の無料化を図る取組を進めています。</p> <p>さらに，ワクチン接種についても，市町村や医療機関等と連携して，3回目の接種が円滑に進められるよう取り組んでまいります。</p>	新型コロナウイルス感染症対策室
災害対策について	(同上)	<p>災害を未然に防止・軽減するためには，「自助」・「共助」・「公助」を基本として，県民，市町村，県及び防災関係機関が，それぞれの役割を果たすことが重要です。県では，県民の防災意識の高揚や防災知識の普及啓発のため，県防災研修センターでの各種研修や県防災アドバイザーによる出前講座の実施，さらには，防災情報を掲載した県政かわら版の全戸配布や県民防災講演会等の開催などを行っているところです。</p> <p>今後も，市町村や防災関係機関と連携を図りながら，防災対策に取り組んでまいります。</p>	災害対策課

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>新しい鹿児島を作るためのアイデアの収集について</p>	<p>農業だけじゃなくて、教育も含めて、それから観光も含めて、いろんなことを総合的に考えたときに、いろんなアイデアを出し合って、これからの鹿児島をどうやって盛り上げていくか、できれば時間をかけて、いろんなところからいろんな人のアイデアを集めていただいて、新しい鹿児島を、ぜひ、引っ張って行っていただきたい。新しい鹿児島を引っ張っていくにあたって、総合的に、新しい幸せを感じるような、みんなで作っていけるような機会をぜひ、お願いしたい。</p>	<p>かごしま未来創造ビジョンは、概ね10年という中長期的な観点から、鹿児島を目指すべき姿や施策展開の基本的方向等を示すものであり、県政全般にわたって最も基本となるものとして、平成30年3月に策定されたものです。</p> <p>その後、新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル化の進展、SDGsの推進やカーボンニュートラルの実現など、社会経済情勢が大きく変化してきており、これらへの対応が重要になってきたことから、今年度、見直しを行いました。</p> <p>見直しに当たっては、県民一丸となって取り組めるものとなるよう、県議会や有識者委員会での御議論のほか、県内外で活躍する幅広い年齢層の方々から意見を聴取する座談会の開催や県民アンケートの実施、市町村や関係団体への意見照会等を行い、可能な限り県民の皆様の意見を伺う場を設けてきたところです。</p> <p>また、各地域においても、ビジョンの地域版である「地域振興の取組方針」について、改訂後のビジョンに沿って、見直しを行う必要があると考えております。各地域振興局・支庁において、現状や課題を十分に踏まえ、地域の声を聞きながら、地域の特性を生かした取組方針となるよう見直したいと考えております。</p> <p>今後とも「知事とのふれあい対話」の開催、知事へのたよりや県政モニター制度、各種アンケートなどを通じて、県政に県民の声を反映させる取組をより一層推進してまいります。</p>	<p>総合政策課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>学力の向上に向けた取組について</p>	<p>子供たちも、今後、社会のために いろいろな学習、学んでいかないと いけないというところもあるが、 そちらの学力の向上に向けての取 組というところも、今一度、この 場をお借りして、お話をお伺い できたらありがたい。</p>	<p>複雑で予測困難な現代において は、社会の変化に主体的に関わり 未来を切り拓く資質・能力を确实 に育成することなどが求められて います。 現在、学校では、ICTを活用 した調べ学習や発表、グループで の話し合い活動等、児童生徒が自 ら学習に取り組み、自分の考えを 深めたり広げたりする授業に取り 組んでいます。 県教委としては、これらの取組 を支援する施策を充実させ、児童 生徒の資質・能力の确实な育成に 努めてまいります。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>タブレット端末によるいじめへの対応について</p>	<p>全校生徒のタブレット端末を利用している生徒間でのいじめっていうところもニュースになることもあった。こちらの方は、先日、県教育委員会との語る会でも、質問等でもあったが、やはり有効に活用されるものであるべきもので、子供たちが傷つけられるということも予防はしていかないといけないと思うし、曾於市での子供たちが、そういう中でつらい思いを1人でもしないような環境づくりということも、ご意見いただければありがたい。</p>	<p>県内公立小・中学校に配備された端末については、各市町村教育委員会が、アカウント及び類推困難なパスワードを児童生徒ごとに発行し、なりすましによるログイン等ができないようにするとともに、フィルタリング等を行っています。</p> <p>また、情報モラル教育については、授業の中で相手の気持ちを考えてコミュニケーションを図ることや個人情報をインターネットに掲載しないことなどの指導を行っています。</p> <p>県教委としても、各学校で情報モラル教育に関する指導に活用できる資料の提供等を通じて、取組の徹底を図っていきたいと考えています。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>
<p>不登校への対応について</p>	<p>不登校であったりとか、そういった部分での、子供たちも、こちらの曾於市の方でも、やはり少なくない状況ではあるんですけども、そこを無理に学校にっていうのも、もちろんいい方法ではないと思います。</p> <p>ただそこを、その前にですね、そういう思いなくできれば、やっぱり学校の方で、笑顔で過ごしてただけのような、地域づくり、学校づくり、また家庭の方でも協力、皆さんで協力して子供たちを支えていける曾於市にできていければなというところで思っております。</p>	<p>県教委としては、不登校の未然防止の観点から、いじめを許さない学校づくりのほか、分かりやすい授業の実践、レクリエーションや体験活動の充実など、魅力ある学校づくりに取り組み、児童生徒の人間関係づくり、居場所づくりに努めているところです。</p> <p>引き続き、学校、家庭及び地域と連携し、子供の支援体制づくりに努めてまいります。</p>	<p>義務教育課 高校教育課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>受け皿となれる教育機関の充実（奨学金制度も含む）</p>	<p>曾於高校に、もっともっと良い高校になって欲しい、いろんな分野の人を育てられる高校になって欲しいというのもあるし、例えば県外に行った人が、また地域に帰って来れるような例えば奨学金制度を、地元の例えば曾於市に帰ってくるとか、鹿児島県でもいいが、帰ってきてくれたら、多分そういう制度もあると思うが、もっと使いやすいものにするとか。そういう受け皿と、そういう一生懸命頑張る人たち、受け皿となる教育機関というか、そういったものをより充実させて欲しい。</p>	<p>曾於高校は、平成26年に財部、岩川、末吉の3校を統合し新設した5学科11コースの学校です。同校は、地域や生徒の実情等を踏まえて、多様な教育活動を行っており、文理科の国公立大学への合格率が6割となるなど高い進学実績を上げるとともに、日商簿記1級などの上級資格にも合格するなど、工業系、ビジネス系などの幅広い資格取得にも取り組んでいます。また、地元企業とのコラボ商品開発、鹿児島大学の共同獣医学部との連携など特色ある教育活動を行っており、和牛甲子園の枝肉評価部門での最優秀賞（全国1位）受賞、カヌー部や科学部の全国大会出場などの実績も上げています。その結果、地元中学校からの入学率が高くなっているところです。</p> <p>県教委としては、引き続き、学校や地域と連携しながら、特色ある教育活動の充実を図り、高校生の多様なニーズや進路に対応できる魅力ある学校づくりに努めてまいります。</p> <p>なお、県では、市町村や地元産業界と連携して、大学等在学時に日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けた学生が卒業後に県内に居住及び就業した場合に、奨学金の返還を支援する「大学等奨学金返還支援制度」を設けて、若者の県内定着の促進を図っています。</p>	<p>高校教育課 総務福利課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>受け皿となれる教育機関の充実（奨学金制度も含む）</p>	<p>この地域に産婦人科がないというのは非常にそういうところも少子高齢化というか、若い子育て世代の人たちが住みにくいという環境になってるのかなという気がして、例えば、将来医学部に行って産婦人科医になって曾於市に帰ってきたらもう学費はただみたいな感じとかだと、曾於市で産婦人科として働くみたいな人が育ったりするんじゃないかなとか、そういうことも思ったりしている。</p>	<p>県では、医師不足が顕著な産科医や小児科医等については、分娩手当を支給する産科医療機関への助成、産科・小児科の専門研修医に対する奨励金の支給、医師修学資金貸与制度における小児科・産科等の特定診療科枠の設定、産科医確保に取り組む市町村等への財政的支援を実施しています。また、鹿児島大学と連携した産科医の派遣を実施しているほか、地域枠医師につきましては、地域の産科医療機関などに配置しています。</p> <p>引き続き、市町村や関係機関と連携して、県内のどこにいても安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>子ども家庭課 医師・看護人材課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>農業、漁業への支援について</p>	<p>やっぱり基盤となるのは農業とか漁業だと思うんで、特に若い人たちが就業することが大事。企業について、農業も漁業も大規模化して、ある程度就業する方が増えていると思う。もちろん自分のように家業を継いでいる人間もいると思うが、やっぱり就業したときに、就業したいと思えるような企業じゃないと、なかなか人が集まらない。どうしても外国の実習生に頼ったりしていくようだと難しい。日本人があまりやりたがらない仕事になってしまいうんじゃないかと思って、自分はできるだけうちの社員とかには手厚くしようと思って心がけてはいるが、とにかく、若い人が都会の方に行って、やっぱりそれはお金のことがあって、いい仕事を求めて都会に出るんだと思うが、農業とか漁業、いろんな関連の業種の方がやっぱり安心して暮らせるような経済基盤を作っていただきたい。</p>	<p>【農業について】 県では、県内外での就農相談活動や就農に向けた研修資金・経営開始資金の交付、経営開始に必要な機械・施設等の整備など、就農準備から経営安定までの段階に応じた支援を行っているところで また、農業経営の安定のため、農業法人等の担い手に対しては、栽培技術・経営管理の向上に向けた支援や、機械・施設等の導入支援など、経営発展段階に応じた各種施策を実施しております。 今後とも、農業の担い手の経営安定に向けて支援してまいります。</p>	<p>経営技術課</p>
		<p>【漁業について】 県では、漁業学校における就業支援や「新米漁業者みまもり隊」の活動支援等により、水産業への新規就業者の定着を図るとともにICTを利用した海況や漁場の予測技術を開発し、それらの情報を漁業者へ提供することで効率的な漁業操業を支援しているところで 引き続き、スマート水産業の導入・普及による生産性の向上、担い手の育成・確保、輸出拡大、資源管理の高度化等を進め、水産業の「稼ぐ力」を引き出してまいります。</p>	<p>水産振興課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>女性農業者の情報交換、連携等について</p>	<p>私ができることはソフト面の場ばかりで、ファシリテーション用いて、対話の場を持つ、あと、「NVC、ノンバイオレンスコミュニケーション」って言って、非暴力的コミュニケーションを大切にしながら、みんなが普段どんなことを思っているか、仕事と家庭に向き合っているか、っていうのを引き出すのを大切にしている。県の経営士の先生たちにはすごくお世話になっていて、やっぱりこういう講習会があるよとか、こういう会があるから行かないかっていう話をいただいたりして、一緒に入っていたりして、対話の場に臨んでもらっていただいている。すごく協力的に、私たちの場を理解していただいていると思う。こういう場が、鹿児島県下の農家さんに広がれば、もっと楽しい農業環境ができるんじゃないかなと思っている。</p>	<p>県では、女性農業者の農業経営や地域農業への積極的な参画を促進するため、リーダー育成研修会をはじめ、資質向上を図るための研修会の開催や新商品開発等の取組を支援しているところであり、そのような取組を通じ、女性農業者同士の情報交換を推進するとともに、連携を図ってまいります。</p>	<p>経営技術課</p>

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
新型コロナウイルス感染症対策について	<p>今，地震などが多くあったり，昨年からはコロナがあったりで，初めて直面する，その危機管理や防災対策について，知事のご意見を伺いたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え，県では，医療提供体制の整備について，受入病床や宿泊療養施設の確保に努めているところです。</p> <p>また，感染拡大傾向時における県の要請に基づくPCR等検査の無料化を図る取組を進めています。</p> <p>さらに，ワクチン接種についても，市町村や医療機関等と連携して，3回目の接種が円滑に進められるよう取り組んでまいります。</p>	新型コロナウイルス感染症対策室
災害対策について	(同上)	<p>防災対策については，自助・共助・公助を基本として，県民，市町村，県及び防災関係機関がそれぞれの役割を果たすとともに，相互に連携・協働して行うことが重要と考えており，防災に関する講演会や各種訓練の実施などを通じた県民への防災知識の普及啓発や防災意識の高揚のほか，自主防災組織の結成や活動支援，人材の育成，治山施設の整備，治水対策，橋梁の耐震対策などに取り組んでいます。</p> <p>今後も，市町村や防災関係機関と連携を図りながら，防災・減災対策の推進，地域防災力の強化，災害発生時の即応力の強化により一層努めてまいります。</p>	災害対策課

知事とのふれあい対話（曾於市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>NPO法人に対する助成について</p>	<p>我々のようなNPO法人に対して、いい助成金がないのかなと思って市にもお願いしていることでもあるが、県でも、そういった間口を広げていただきたい。</p>	<p>県では、NPOや地域コミュニティなど多様な主体の連携の拠点として「共生・協働センター」を設置し、地域活動や社会活動に取り組む団体や個人の活動を支援するため、組織運営や活動に関する相談業務のほか、各種財団等の助成金情報などの情報提供や講座等を実施しています。</p> <p>令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により生じている課題の解決に向けて、NPO法人や地域コミュニティ等に対して助成する「ウィズコロナ協働活動促進事業」を実施し、地域交流イベントや交流拠点の整備等に活用していただいています。</p>	<p>くらし共生協働課</p>